

全校朝礼 （7月）

おはようございます。

夏休み前のこれからの学校生活で特に心がけてもらいたいことのお話をします。世界3大聖人の一人である孔子の言葉です。

聖人とは聖なる人と書いて、知識にすぐれ徳の高い人を言います。3年生は国語の授業で、孔子の論語について学びましたね。期末考査にも出題されていたので、もちろん知っていますね。

その孔子が言われた「人が生きる上で最も大切にすべきこと」について紹介します。

ある弟子が尋ねました。「孔子先生、人として生きていく上で、最も大切にすべきことはどんなことなのでしょう？」すると孔子はこう答えたのでした。「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」。人が生きていく中で、大切にしなければならないことはいくつかあると思いますが、孔子はその中でも「自分がしてほしくないことは、他の人にしてはいけない」このことが一番大切だと言っているのです。

孔子が生きた時代は、今から2500年前の時代ですが、現代の私達にも通じる言葉ですね。実はそうなのです。

人間は社会的な動物であると言われてるように、人と人とのつながりの中で生きてきました。そのつながりにより人類は、新生代第四紀を生き延びてきて、私たちがいるのです。現在、人類は地球上に1種類だけです。1種類とは私たち人間のことでホモ・サピエンスと言います。かつては、ホモ・エレクトスとかネアンデルタール人とか何種類かの人類がいましたが、全て絶滅したのです。他の種類に比べ、力は強くなく、脳もそれほど大きくなかった私たちが生き残ったのは、集団でお互いに気遣い、助け合って生活していたからだと言われてます。だからこそ「自分がされたくないことは他の人にしてはいけない」という言葉が、とても重要な重い言葉になります。

現代の皆さんの周りのことと言えば、暴力などの身体的苦痛やSNSで悪口を言われるなどの精神的な苦痛を受けることが、当てはまるかと思えます。

この孔子の言葉は、当たり前のように思えるかもしれませんが、周りを気遣う意識を常にしていないと、実現させることはとても難しいことなのです。

私たちは普段から、心のどこかに「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」を留めながら生活していきたいものです。これからの3週間。お互いに気持ちよく学校生活や地域生活を送り、晴れ晴れとした思いで夏休みを迎えましょう。以上です。